人材確保・育成ワーキンググループにおける検討状況について

水の恵みを 未来へつなぐ 長野県企業局

資料11

1　概要

長野県内の各水道事業者に共通する喫緊の課題である「人材の確保・育成」については、水道事業広域連携推進協議会の下に設置するワーキンググループ（WG）において、県内水道事業者の実務担当者による調査研究を行うこととし、まずは、そのモデルケースとして企業局と関係市町村で先行して研究を開始。

2　実施状況

○令和２年度

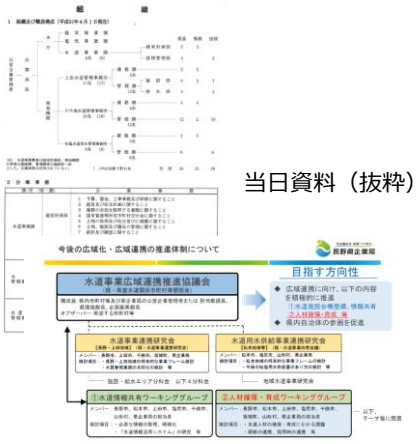
・ 第１回　令和２年８月19日（水）13:00～

場　　所：長野県企業局分室（Web会議）
参加者数：25名(８団体＋市町村課、水大気環境課)
内　　容：「水道人材の確保・育成にかかる現状と課題について」
「研修体制の現状と連携の検討について」
「採用・確保の現状と連携の検討について」

WEB会議において、活発な意見交換を展開

ベテラン参加者からの提言

・ 議論された主な内容
合同で人材を育てる仕組みづくり
（県下に研修施設の設置）
小規模事業体の人材育成をフォローする仕組み
継承すべき技術の選別、OJTによる育成



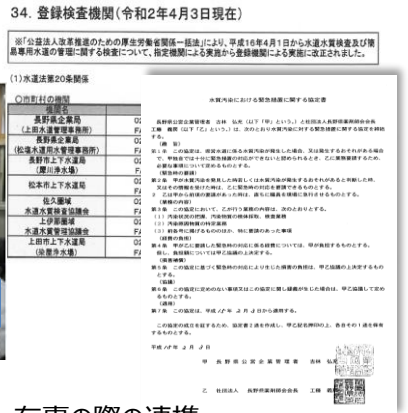
当日資料（抜粋）

・ 第２回　令和２年９月28日（月）13:30～（水道事業水質検査に関する意見交換）

場　　所：長野県企業局会議室（Web会議）
参加者数：県内において、水道事業にかかる水質検査を実施している10団体
（長野市、松本市、上田市、佐久圏域水道水質検査協議会、
上伊那圏域水道水質管理協議会、県下４薬剤師会、県企業局＋市町村課）
内　　容：「水質検査業務にかかる現状と他事業体との連携の可能性」、
「水道人材の確保・育成（研修・採用等）にかかる現状と課題」

当日資料（抜粋）

Web会議により、10団体30人が初めて一堂に会した会議



・ 議論された主な内容
各団体の現状に関する情報共有、専門技術の継承、有事の際の連携

今後に向けての課題

① 専門人材の不足と、その対応
② 専門人材の確保・育成と、それに向けた連携強化
③ 有事の際等に向けた各水道事業者等の連携強化

水道工事、水質検査、公営企業会計等の専門人材の確保・育成と、それを活かす　組織体制の調査・研究を実施